



教員紹介

経営学部

松本 美紀 MATSUMOTO Miki

職位	講師
最終学歴	名古屋外国語大学大学院 国際コミュニケーション研究科 博士後期課程 日本語学・日本語教育学 単位取得満期退学
職歴	韓国 釜山外国語大学校 日本語学科、中国 東北育才中日友好分校 日本語教師 企業内外国人社員向け日本語研修 講師 名古屋外国語大学 日本語教育センター/アカデミック・スキル科目担当、愛知学泉短期大学 生活デザイン総合学科 他 非常勤講師 名古屋大学 とよた日本語学習支援システム事務局 2020年4月より現職
学位	日本語教育学修士
資格（免許）、認定	地域日本語教育コーディネーター〔文化庁〕 国家資格 キャリアコンサルタント CDA（キャリア・デベロップメント・アドバイザー） 愛玩動物飼養管理士 1級
担当科目（学部）	日本語スピーチ/ 日本語論文/ ビジネス日本語/ 自分づくりゼミⅢ・Ⅳ
担当科目（大学院）	
学生へのメッセージ	みなさんの夢は何ですか？ 将来どんなことをしたいですか？ 私の大学時代は、夢を実現させるため、多くを学び、多くのことに挑戦することができたとても貴重な時間でした。 みなさんもこの星城大学で、「夢への挑戦」の一步を、共にふみだしましょう。 留学生の日本語教育を担当します。 留学生のみなさん、将来、日本語を使って活躍できる人材となれるよう一緒にがんばりましょう！
研究内容	地域日本語教育の実践と人材育成 多文化共生のまちづくり 初年次教育におけるアクティブ・ラーニングの活用 アカデミック・スキル養成
研究分野キーワード	日本語教育/地域日本語教育/多文化共生/外国人住民/外国につながる子ども 初年次教育/アカデミック・スキルの養成/キャリア形成支援
URL	

著書

論文

学会発表

- 1) 伊藤春子・**松本美紀**『コロナ禍におけるオンライン授業に対する外国人留学生の評価と課題－経営学部在籍する外国人留学生への意識・実態調査から－』日本語教育学会 2020 年度関東支部集会 (2021 年 3 月 5 日 オンライン開催)
- 2) 内山喜代成・梶原彩子・**松本美紀**『日本語支援ボランティア養成講座のあり方を再考する－養成講座参加者の日本語支援ボランティア・養成講座に対する意味づけから－』言語文化教育研究学会 第 6 回年次大会 (2020 年 3 月)
- 3) 鈴木崇夫・**松本美紀**『アクティブラーニングによる「用語の定義を調べる」過程のふりかえりから自律的学習を促す初年次教育クラスの試み』日本リメディアル教育学会第 15 回全国大会 (2019 年 8 月 金沢工業大学)
- 4) 鈴木崇夫・**松本美紀**『レポート作成過程における文献・資料選択の質を高める実践－アクティブラーニングを活用した大学生のアカデミック・スキルの養成－』日本リメディアル教育学会 第 14 回全国大会 (2018 年 8 月 創価大学)
- 5) **松本美紀**・鈴木崇夫『アクティブラーニング活動によるノートテイキングの効果的指導法の提案－4 つの視点に着目した「よいノートとは？」の実践から－』日本リメディアル教育学会 第 14 回全国大会 (2018 年 8 月 創価大学)
- 6) 鈴木崇夫・**松本美紀**・磯村美智子『愛知県 H 地区における外国人家庭の言語継承の実態』〈ポスター発表〉日本言語政策学会第 18 回大会 (2016 年 6 月 大東文化大学)
- 7) 小川靖子・**松本美紀**『地域日本語ボランティア養成講座における主催者(企画者)と受講者の気づき－アンケート調査報告を中心に－』第 56 回韓国日本語教育学会、第 19 回韓日日語日文学会連合学術発表大会 (2013 年 9 月 韓国 釜山外国語大学校)
- 8) **松本美紀**『「上」関連表現における意味構造モデル構築の試み』日本語教育学会世界大会 2008、第 7 回日本語教育国際研究大会 (2008 年 7 月 韓国 釜山外国語大学校)
- 9) **鈴木美紀**『国広「現象素」における「上」関連表現への応用と分析－「上がる」への応用とその有効性の検証－』韓国日本語文学 2006 年度分科学術大会 (2006 年 4 月 韓国 国立順天大学校)
- 10) **鈴木美紀**・小川靖子『母語を共通とした学習者間インターアクション』韓国日本語教育学 第 43 回学術発表大会 (2005 年 10 月 韓国 慶尚大学校)
- 11) **鈴木美紀**『名詞用法「上」における多義的意味を統括するモデル構築への試み－ラネカーのネットワークモデルへの応用とその有効性－』韓国日本語学会 第 11 回学術発表会 (2005 年 3 月 韓国 祥明大学校)
- 12) **鈴木美紀**『日本語における上(下)メタファーの分類』韓国日本文化学会春

	<p>季国際学術学会（2003年3月 韓国 ハンバツ大学校）</p>
<p>社会的活動 （公開講座・講演・ 国際交流など）</p>	<p>【所属学会】</p> <p>1) 日本語教育学会</p> <p>2) 日本リメディアル教育学会</p> <p>【地域活動・講座・国際交流】</p> <p>1) 多文化共生ひがしうら 日本語教育コーディネーター</p> <p>2) 東浦町委託事業「日本語支援ボランティア養成講座」、「共に学ぶ多文化共生講座」コーディネーター</p> <p>その他、様々な多文化共生活動に携わる</p>
<p>その他</p>	<p>【NPO 活動】</p> <p>特定非営利活動法人 あいち子ども若者キャリア教育支援センター 副代表理事</p>